

東港金属株式会社

東京都大田区京浜島2-20-4

電話 03-3790-1751

URL <http://www.tokometal.co.jp>

(見学受付)

電話03-3790-1751 又は 各営業担当

8月(葉月)盛夏です。エルニーニョ現象が秋以降になるとの報道がなされた後、列島各地は連日猛暑日が続いています。夕方になっても、打ち水で涼をとるなどの夏の景色は都会では考えられなくなりました。国内927カ所ある気象庁の観測点のうち、225地点で最高気温が35度以上の猛暑日も出ていて、熱中症での悲惨な記事も目に入ります。暦では7日が立秋ですが、ここからが夏本番の気候でしょう。体調に気を付け我慢せず、早めに体を休めることで夏を乗り切ります。

ワイドショーで「南部裂織」の紹介がありました。使い古した布を細く裂き、織りこみ、衣服や生活用品へと再生する織物です。経(たて)糸に木綿糸、横糸に古布を用いて織った裂織は、丈夫で温かく、使いつづけると柔らかな風合いになります。江戸時代、物資不足を補うための工夫から生まれた南部裂織は、今では芸術的価値を持つまでになり、愛用者も増えているとか。

スクラップや、産業廃棄物も丁寧リユース、リサイクルし、世の中の役に立てていくことが大切と南部裂織から教わったような気がしました。

東港金属株式会社は非鉄・スクラップの買取り、産業廃棄物の処理を“いつでも”お受けいたします。身近なリサイクルパートナーとしてお気軽にご相談ください。



(水蓮)

営業部 Y の考察

## ★羅針盤

- 鉄スクラップ** → 考察) 7月は東京製鉄宇都宮工場34,000円/トンでスタートし、最終的には、32,000円/トン。8月は、国内電炉メーカーの夏季炉休もあり、減産になるが、輸出価格が下がらない為横ばいと思われる。
- 銅** → 考察) 7月は、LME7015ドル/トン。国内銅建値760,000円/トンでスタート。特にLME価格の上昇は無かったが円安の影響で最終的には国内銅建値770,000円/トン。海外情勢の影響もあるが、円安に振れているため8月は多少は上ると考えられます。
- アルミ** → 考察) 7月はLME1,885ドル/トンでスタート。最終的には2,000ドル/トン超え。上物から裾物まで価格は上昇しましたが、8月はLME在庫6万4000トン増と急増しているため、8月は下がると考えられます。
- プラスチック** → 考察) 原油の価格の不安定はあるものの8月も横ばいでしよう

## 7月予測の自己評価

|        |   |        |   |
|--------|---|--------|---|
| 鉄スクラップ | ○ | アルミ    | ○ |
| 銅      | ○ | プラスチック | ○ |

## 鉄・非鉄スクラップ・市況からの8月予測

## ★羅針盤

## 中国での自動車リサイクル成功の鍵

中国は急速な経済発展を支える基幹産業の一つとして、自動車産業を育成・奨励しており、その後押しを受け、自動車生産台数、販売台数及び国内保有台数は拡大を続け、着実に自動車大国への道を歩んでいる。

一方、中国の年間廃車率(年間廃車台数/その年の保有台数)とした場合、現況では3%台と推計され、先進国の概ね8%~10%に比べて未だ低い率ではある。しかし、今後、中国が「廃車大国」への道を歩んでいくことは確実であろう。

近年、この様な状況を鑑みて、中国での自動車リサイクル市場に積極的に参入する日系企業(商社+リサイクル業者の組み合わせパターン)が相次いでいる。例を挙げてみると、数年前に大手非鉄専門商社のアルコニックスは、天津市に合弁会社を設立する事で現地企業と合意・調印し、自動車リサイクル事業に乗り出すと発表した(出典:日刊鉄鋼新聞)。続いて、伊藤忠商事・鈴木商事・豊田通商は大連市・四川省成都市の地元企業と協力連携しつつ、合弁の形で自動車解体・リサイクル会社を設立した。また、今年に入り、豊田通商は昭和メタルと自動車リサイクル事業を手掛ける北京博瑞聯通汽車会社に資本参画することも発表した(出典:NEDOホームページ記事)。

中国において自動車解体・リサイクル業は「**廃棄自動車回収管理弁法**」に基づく許認可制度方式であり、会社設立、工場内の設備およびインフラ建設など複雑な手続きの申請・審査が不可欠である。だからこそ、地元の中国側パートナーが主体となって申請業務を行っているところである。今後、仮に日本企業が独自で進出する場合を想定した場合には、既に地元地域には中国側の既存業者が存在しているため、集荷ルートや集荷台数の確保に困難を生ずる恐れがある。

中国の自動車リサイクル制度が将来 如何なる形になるかは、まだ不確定な要素が多いが、解体システムにフロン類・ASRなど有害物質の適正処理、情報管理システムを含めて構築することが重要であろう。

自動車リサイクル領域において日系企業が確実にビジネスチャンスをつかむためには、定期的・的確な現地調査、情報収集および分析を行うことが鍵となる。つまり、自動車リサイクル事業を本格的に開始する前に、人件費の上昇や設備投資などの要素を想定した上で、綿密な集荷計画および金属価格を配慮したシミュレーションを行うことが必要である。また、中国現地で、日本国内のような成熟したリサイクル産業が育成され、集荷体制システムや人材養成などが確立されていくかどうかを注目することも、今後の大きな課題となるだろう。

車 佳(営業部)

中国社会科学院 海外理事

## 私のゴルフ人生

(第2話)



バブル崩壊後、父親の会社(O社)の存続と自宅を守る為にあらゆる手を尽しました。結果、会社は縮小したものの存続、ビルは売却し残りの債務は時間を要しましたがすべて完済いたしました。自宅は競売を免れ一度知人に売却し、売却金は債務に回し、その後私の名義で買い戻すという手続きを踏み、なんとか自宅を守ることが出来ました。

とにかくじっとしていることに耐えられない性分の父親は、何か新しいものにチャレンジすることに生き甲斐を感じその後O社を閉じ、新たに人材派遣の会社を立ち上げました！もちろんO社は父親が起した会社ですからどうしようも勝手ですが、将来O社を継ぐつもりでいた私はゴルフ以外に興味も湧かず、業界の先行きも暗く17年間勤めたゴルフ会員権業に見切りを付け、東港金属に拾って頂き今日に至りました。

父親の話だけで連載が終わってしまいますので、そろそろ本題である「私のゴルフ人生」を語らせて頂きます。

遡ること31年前15歳の秋のことです。前述のとおり父親がゴルフ会員権業に携わっていたことから、当然ゴルフ好きの父親は頻りに近所の練習場に足を運んでおりました。小学校3年から中学3年まで野球をしていた私は、将来プロ野球選手を夢見る野球少年でゴルフには全く興味はありませんでした。ある週末プロのゴルフトーナメントをテレビ観戦していた父親に私はこう漏らしました、「ゴルフは野球に比べて止まっている球を打つんだから簡単なスポーツだね！ ゴルフならすぐにプロになれそうだね！」と……すると父親はこう言いました「ゴルフは一度として同じ場所から打つことはないんだ、傾斜やラフやバンカーなどドライ(打つ際にボールが置かれている状態の事)が異なり風を読み残りの距離を計算しクラブ選択をするスポーツだよ」と、私はバカと言われて頭に血が上り「じゃあ俺が球を打ってゴルフが簡単なことを証明するよ！」と食ってかかりそのまま練習場に直行しました。

私は左ききで当時練習場には貸クラブはほとんどなく、ドライバー(1番ウッド)と5番アイアンが1本づつあるだけでした。

父親からグリップ(クラブの握り方)を教わり数回素振りをしてティーアップ(ボールをゴム状のティーに乗せること)し渾身の力でフルスイングをしました！ 期待を裏切らない見事な空振りでした！ 動いている球は打てるのに止まっているボールを空振りするなど予想もしていない結果でした。これが私のゴルフ人生の始まりです。とにかく悔しくてその後父親からスイングの基本を教わり、その日のうちに150ヤード先のネットに直接届くまでになりました。私の中で結論ができました！ ゴルフはやっぱり簡単だ！ なんて周りのおじさん達はあんなにヘタクソなんだろう？？ これが勘違いの始まりでした。

当時高校進学を目前にしていた私は、のちに甲子園出場校となる埼玉栄高校から野球推薦を頂き進学がほぼ決まっておりました。しかし県大会出場後に肩を痛めてしまい、進学後野球が続けることに不安を抱えておりました……

「私の勘違いゴルフ人生」の続きは次号で！ あれ？テーマが変わってしまいましたね(笑)

長谷川 武史 (営業部 主任)